

▼昔の記ろくに出ている井桁せきが作られたときのようす。

井桁立 閏ラ上ル 田ヲ作事 元録元 辛辰ノ
 八月ヨリ始テ 水々々 針生村 大工 弥五衛ト
 云者ニタメサセ 十人ノ 百姓ニテ 三年ノ 普請
 ニテセキ 成就ノ 其時ノ 百姓人 數
 作齋 八十良 半助 権三良 作十良
 源左衛門 助齋門 與齋門 善齋 照圓
 ノ 拾人也

井桁へせきを上げた。(作った)。田を作ることを一六八八年八月から始めた。(約三百年前) 水たためを針生村の大工で弥五兵衛といふ人にさせた。
 十人の百姓で工事をを行い、三年間で完成した。
 その時の人々は
 作兵衛、八十良、半助、権三良、作十良、
 源左衛門、助右衛門、興右衛門、善兵衛、照圓
 の十人である。

(井桁「自源寺過去帳」より)

- そのころの工事のようすを想ぞうしてみよう。今の方法とは、ずい分とちがっていたことでしょう。
- どんな苦労があったらうか。

